

## 大学等進学時における転入・転出の状況について

### 1 要旨・目的

文部科学省「令和3年度学校基本調査（令和3年12月22日公表）」に基づく、大学等進学時における転入・転出の状況について報告する。

### 2 現状・背景

令和3年度の大学等進学時における転出超過は、前年度から384人改善して1,128人

### 3 概要

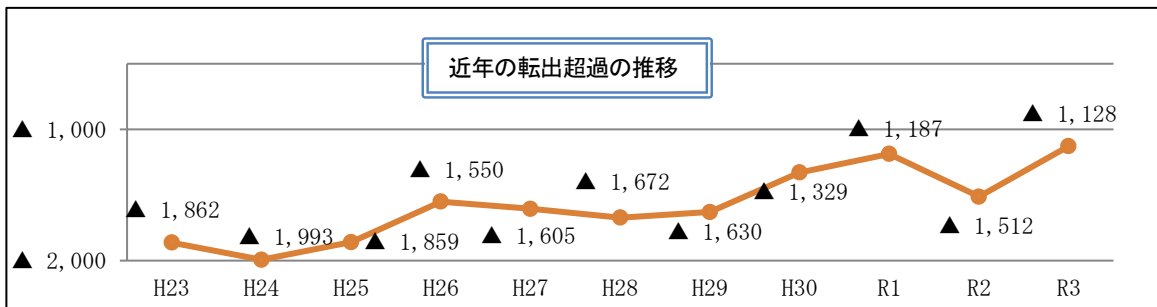
(1) 調査対象 令和3年5月1日現在、大学及び短期大学に在席している新入生

#### (2) 調査結果

##### ア 転入・転出の状況

(単位：人)

年度	県内高校から 県内大学等へ 【地元入学】	県外高校から 県内大学等へ 【転入】(A)	県内高校から 県外大学等へ 【転出】(B)	転出超過 (A-B)	対前年増減
R2	8,328	5,878	7,390	▲1,512	-
R3	8,204	5,815	6,943	▲1,128	▲384



##### イ 要因・分析

- 本県では、県内高校を卒業して大学等へ進学した学生 15,147 人に対して、県内大学等の入学定員は 14,228 人となっており、定員充足率 100%と仮定した場合においても、その差 919 人の転出超過が生ずる構造的な課題がある。
- 令和3年度は、18歳人口の減により、県内高校を卒業して大学等へ進学する学生が減少 (▲571人・▲3.6%) する中、
  - ・県内高校からの地元入学者 (▲124人・▲1.5%) と県外高校からの転入者 (▲63人・▲1.1%) が微減に止まる一方、
  - ・県内高校から県外への転出者 (▲447人・▲6.0%) が大幅に減少したことから、転出超過は縮小した。
- このことは、コロナ禍において、就職に直結する学部の人気が高まる中、医療看護系等の構成比が全国平均よりも高い本県の特徴が影響したものと考えられる。

4 その他（関連情報等）

【県内大学等の定員充足率等の推移】

